

授業概要

倫理学について理解するために、倫理学の歴史をたどっていきます。古代ギリシャの倫理学からはじめて、中世、ルネサンス、近世、近代、20世紀、そして現代へと流れていく倫理学の歴史(history)の中にある物語(story)を読解していくことを通じて、偉大な倫理学者の思想について理解していきます。

授業計画

第1回	倫理学をどのように学ぶか 西洋倫理学と東洋倫理学、倫理学史と倫理学概論
第2回	古代ギリシャの倫理学(1) ソクラテスからプラトンへ
第3回	古代ギリシャの倫理学(2) プラトンからアリストテレスへ
第4回	中世の倫理学 キリスト教社会とルネサンス
第5回	レポートの書き方(1)
第6回	近世の倫理学 バイコン、スピノザ、ライプニッツほか
第7回	近代の倫理学(1) カントの实践哲学
第8回	近代の倫理学(2) ヘーゲルの法・権利の哲学
第9回	近代の倫理学(3) キルケゴール、ニーチェほか
第10回	レポートの書き方(2)
第11回	20世紀の倫理学(1) 実存思想(ヤスパース、ハイデガー、サルトルほか)
第12回	20世紀の倫理学(2) 英米倫理学とフランス倫理学
第13回	応用倫理学(1) 環境の倫理学
第14回	応用倫理学(2) 科学技術の倫理学
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験(教場レポート形式)

到達目標

- 倫理学史を通じて倫理学の重要問題について理解する。
- 倫理学を身近なものと感じ、実践的に行動できるようにする。
- 身につけた倫理観によって社会規範を再確認してみる。

履修上の注意

- 初心者から中・上級者まで、広く受講できる授業です。
- 既習内容についてはこまめに復習して定着させるよう努めましょう。
- 疑問点を日頃から用意し整理しておきましょう。

予習復習

- 授業で学んだことは必ず復習すること。
- 次回以降の課題についても、自分で調べられるものは読んでおくなどするのが望ましい。

評価方法

- 平常点(レビューシート等による授業への積極的な参加) 50%
- 筆記試験(教場レポート形式、あらかじめ提示された課題について論ずる。自作ノート持込可) 50%

テキスト

- 教科書:『哲学・倫理学の歴史』伊野連著、三恵社、2016年刊。
その他、パワーポイント、プリント等を配布することもあります。
- 参考書等はそのつど教室で指示します。